## ナんぱくものしりシート 考古 — № 19 きゅう せっ だい



2019年8月



<sup>まえ</sup> 前のアフリカで誕 生 し、動物を追って 生活する中で、4万年前に日本列島に

やってきたと<sup>かんが</sup> おうれています。

日本では、4万年~1万5000年前の時代を 「旧石器時代」と呼びます。旧石器時代と は一体どのような時代だったのでしょうか?



## 冷え冷えとした寒い時代



きゅうせっき じだい きまん いま 日 石器時代の気温は、今よりも7~8℃低かっ たようです。盛岡の平均気温で考えると、夏は 16℃、冬は一9℃くらいとなり、今よりもずっと ☆え冷えとしていたことが分かります。

自然の様子も現在とは異なり、寒さに強く、針 のように細い葉を持つ「針葉樹」が多く生えてい ました。

動物を追いながらテントくらし



カヤロ デ ドド 川沿いの小高いおかに、 テントのよう な住居を建ててくらしていたと考 えられます。主食である「大型のけも の」を追いながら、1週間〜数週間ご とに住む場所をかえていたようです。

マンモス、野 牛 、オオツノジカなどの肉の他、ナッツや ベリーといった果実なども食べていた可能性があります。肉 を食べた後に残る「動物の骨」は道具として加工され(右図 「骨器」)、「動物の皮」は服やテント、船の様な乗り物など に加工されていたようです。

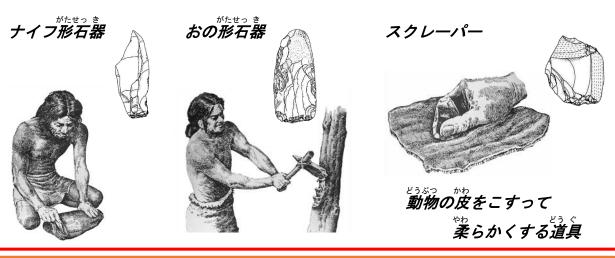


## サウサルタルムルまえ 数万年前のくらしが分かるのはなぜ?

むかし ひとびと かっどう ・・・・ のこ ぱ しょ いせき い 昔 の人々が活動したしるしが残っている場所を「遺跡」と言います。

間石器時代の遺跡は、日本全国で1万か所以上、岩手県では130か所以上見つかっていますが、食べ物や動物の皮、骨製品などは、長い間に土の中でとけてなくなってしまったため、ほとんど見つかりません。遺跡から見つかるのは「石器(石でできた道具)」ばかりです。しかし、この石器こそが旧石器時代の人々に関するたくさんの情報を私たちに教えてくれるのです。たとえば…

- ① 石器の形から何に使ったのかを想像できます。
  - ▷ ナイフ形の石器 → 肉を切った? ▷ おの形の石器 → 木を切りたおした?
- ② 石器の様子からどのような場面で使ったのかを想像できます。





世のままった。 ではい のとびと 日 石器時代の人々は、時代が進むにつれてより である はつめい 使利な石器を発明していきました。

そのうち、ねん土を焼いてつくる器 「土器」が誕生します。 こうして時代は縄文時代へと続いていきます。



ディア (9月) の 来月 (9月) の けんぱくものしりシートは 歴史<u>-19</u>だよ! おたのしみに!



※「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。 ※「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。